特色

FOR FREEDOM

PRACTICAL WISDOM

法政の実践知 01

最先端の分野がそろう多彩な知の空間

多様な研究科を設置

法政大学大学院は1951年に人文科学研究科・社会科学研究科に修士課程を設置したことに始まります。国際社会に開かれた大学院として新しい時代の最先端で活躍する人材の育成に取り組み、歴史ある研究分野から現代の社会的要請に即した研究領域まで多彩な研究科を設置してきました。現在は、15研究科・31専攻・3インスティテュートを設置しています。

社会を牽引する教授陣による少人数教育

また、「社会に開かれた大学院」を特色として打ち出し、1995年にはわが国最初の夜間博士後期課程を開設しました。

各研究科では、各分野をリードする一流の教授陣が指導に当たります。授業のほとんどは少人数のゼミ形式で、すべての学生が自分の研究課題に適した指導教授について論文指導を受けることになります。

教育のグローバル化を推進

その他、人文科学研究科国際日本学インスティテュートでは、2019年度から上海外国語大学（中国）と共同学位（ダブル・ディグリー）プログラムをスタートさせる予定であることなど、国際的な教育・研究水準の向上を目指し、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図っています。

知の最前線であるための教学改革

経済学研究科

多様化の進展とともに、高度に専門化する21世紀のグローバル社会に対応できる人材養成を推進するための改革の一つとして、より専門的なエコノミストや研究者の養成を目的とした、修士課程・博士後期課程5年一貫の「博士5年（Ph.D.）プログラム」を2014年度よりスタートさせました。5年一貫の博士養成課程は、日本ではあまり前例のないプログラムですが、確かな研究基礎力を修得した上で、時間をかけて専門分野を選択できるというメリットがあり、欧米では多くの大学院で採用されています。また、2017年度からは「経済学研究科修士課程1年制コース」を新たに設置しています。

情報科学研究科・理工学研究科

学部から大学院修士課程までの6年間を通じて専門領域を学ぶことが高度技術者・研究者の育成に不可欠となっていることから、本大学院の工学研究科でも、6年一貫教育を行うことのできる体制を目指し、2008年の学部再編（工学部をデザイン工学部、理工学部、生命科学部に分割）をもとにした改組を実施。2013年度より工学研究科から理工学研究科へ改め、学部学科を基礎とする6つの専攻で構成しています。そして、2016年9月には情報科学研究科と理工学研究科が協働し、理系専攻分野の先端的研究を英語で学ぶ横断型大学院プログラム「総合理工学インスティテュート（IIST）」を開設しました。

法政大学大学院の歴史と伝統

- 1951（昭和26年）・人文科学研究科に哲学・日本文学・英文学専攻、社会科学研究科に経済学専攻の修士課程を開設
- 1952（昭和27年）・人文科学研究科に国史学専攻（夜間）と社会科学研究科に私法学専攻の修士課程を増設
- 1953（昭和28年）・人文科学研究科に地理学専攻（夜間）の修士課程を増設、大学院専用校舎53年館竣工
- 1954（昭和29年）・国史学専攻を日本史学専攻に変更
- 1955（昭和30年）・哲学・日本文学・英文学・日本史学・地理学専攻、経済学・私法学専攻に博士後期課程を開設
- 1956（昭和31年）・社会科学研究科に政治学専攻・修士課程を増設
- 1958（昭和33年）・政治学専攻に博士後期課程を増設
- 1964（昭和39年）・社会科学研究科に社会学専攻・修士課程を増設
- 1965（昭和40年）・工学研究科を設置し、修士課程に機械工学・電気工学・建設工学専攻を開設
- 1966（昭和41年）・社会学専攻に博士後期課程を増設
- 1968（昭和43年）・電気工学専攻に博士後期課程を増設
- 1985（昭和60年）・工学部大学院棟竣工
- 1986（昭和61年）・工学研究科機械工学・建設工学専攻に博士後期課程を増設
- 1987（昭和62年）・工学研究科にシステム工学専攻・修士課程を増設
- 1989（平成元年）・工学研究科システム工学専攻に博士後期課程を増設
- 1991（平成3年）・私法学専攻を法律学専攻へ名称変更
- 1992（平成4年）・経営学専攻を経済学専攻から分離独立させ、経営学専攻に修士・博士後期課程を開設。経済学・経営学専攻の修士課程で昼夜開講制を実施。大学院専用棟92年館（現大学院棟）竣工
- 1995（平成7年）・経営学専攻・博士後期課程で昼夜開講制を実施
- 1998（平成10年）・法律学専攻・修士課程に法曹コースを開設し、従来のものを研究コースとした。政治学専攻・修士課程で昼夜開講制を実施
- 2000（平成12年）・人文科学研究科・全専攻修士課程で昼夜開講制を実施
- 2001（平成13年）・工学研究科に物質化学・情報電子工学専攻の修士・博士後期課程を増設。電気工学専攻・修士課程に1年制のIITプロフェッショナルコースを開設
- 2002（平成14年）・社会科学研究科に政策科学専攻（昼夜開講制）修士・博士後期課程を増設
- 2003（平成15年）・人間社会研究科および情報科学研究科（ともに修士・博士後期課程）を開設
- 2004（平成16年）・社会科学研究科に環境マネジメント専攻修士課程および国際日本学インスティテュートを増設。社会科学研究科経済学専攻・博士後期課程で昼夜開講制を実施
- 2005（平成17年）・法務研究科・イノベーション・マネジメント研究科、人文科学研究科国際文化専攻を増設。経済学研究科経済学専攻、法学研究科法律学専攻、政治学研究科政治学専攻、社会学研究科社会学専攻、経営学研究科経営学専攻、政策科学研究科政策科学専攻を社会科学研究科から独立改組
- 2006（平成18年）・経営学研究科キャリアデザイン学専攻、システムデザイン研究科システムデザイン専攻、イノベーション・マネジメント研究科アカウンティング専攻を増設
- 2008（平成20年）・国際文化研究科国際文化専攻を人文科学研究科から改組
- 2010（平成22年）・人文科学研究科心理学専攻を増設
- 2011（平成23年）・政策創造研究科政策創造専攻を開設
- 2012（平成24年）・政治学研究科に国際政治学、環境マネジメント、政策創造政治・行政プログラムの4研究科が統合。公共政策研究科として開設。工学研究科生命機能学専攻内に植物医科学領域を設置
- 2013（平成25年）・国際日本学インスティテュートが改組転換の上、人文科学研究科に設置。人文科学研究科日本史学専攻を史学専攻へ名称変更
- 2015（平成27年）・工学研究科から理工学研究科へ改組（機械工学専攻、電気電子工学専攻、応用情報工学専攻、システム工学専攻、応用化学専攻、生命機能学専攻）。経営学研究科から独立し、キャリアデザイン学研究科キャリアデザイン学専攻として開設
- 2016（平成28年）・連帯社会インスティテュート開設
- 2017（平成29年）・経済学専攻に1年制修士課程を開設
- ・スポーツ健康学研究科開設
- ・公共政策研究科にサステイナビリティ学専攻開設
- ・情報科学研究科・理工学研究科に横断型大学院プログラム（IIST）開設
- ・システム工学専攻をシステム理工学専攻へ名称変更

個々の環境に対応できる開講時間と3つのキャンパス

本大学院では、昼間開講・昼夜開講・夜間開講の3つの時間帯をそろえ、社会人や留学生など学びたい人たちの生活や環境に対応することが可能になっているため、幅広い層の学生の受け入れを実現しています。

また、学期は春学期と秋学期の2期制（2セメスター制）を実施（一部の専攻・科目では4期制）。さらにビジネスシーンで役立つ実地研修や専門家によるワークショップなどに定評があります。

選択できる3つの開講時間

［昼間開講］ 科目は昼間に配置され、主に研究者養成を目的とした構成になります。授業は昼間のみで昼間に通学できる人が対象です。

［昼夜開講］ 研究者を目指す方から生涯教育として入学を希望される方まで広く門戸を開いています。1時限～7時限に科目を配置しており、自分に適した時間配分で履修することが可能です。

［夜間開講］ 昼間勤務しながら学べ、平日2～3日の夜間通学と土曜通学（昼・夜）の受講によって修了できるカリキュラムとなっています。場所は、仕事を持ちながらの通学に至便な「市ケ谷キャンパス」。市ケ谷・飯田橋の各駅から徒歩で通える立地です。

授業時間		市ケ谷キャンパス	多摩キャンパス	小金井キャンパス
昼間	1時限	9:00～10:40	9:25～11:05	9:00～10:40
昼間	2時限	10:50～12:30	11:15～12:55	10:50～12:30
昼間	3時限	13:10～14:50	13:45～15:25	13:20～15:00
昼間	4時限	15:00～16:40	15:35～17:15	15:10～16:50
昼間	5時限	16:50～18:30	17:25～19:05	17:00～18:40
夜間	6時限	18:35～20:15		
夜間	7時限	20:20～22:00		

※授業時間について変更が生じた場合はHPで発表します。

市ケ谷キャンパス

多摩キャンパス

小金井キャンパス